



第30回東部美術展・第25回ふるさと名勝写真展(主催 安芸都市文化協会)が、平成24年2月3日(金)～6日(月)に安田町文化センター(安芸郡安田町大字西島40-2)で開催されました。

この展覧会は、「安芸都市町村民の生活に潤いと心に豊かさを与えるとともに、広く生活文化への関心を高め、もって地方文化の振興を図る」(東部美術展開催趣旨)ことを目的に、安芸郡内7町村の持ち回りで開催されています。安芸都市町村在住者・出身者・在勤者から出品され、日本画・洋画・書道・写真・彫塑・工芸・切り絵・ちぎり絵・短冊(俳句・短歌)・俳画・押し絵・押し花など様々なジャンルの作品が鑑賞できます。以前は200点を超える作品が展示されていたようですが、最近は過疎化や少子高齢化の影響からか100点余りの展示になっています。



今回は、合計144点の作品が展示され、同時に「懐かしの映画ポスター展・おもちゃ展」も開催されました。

3日にはオープニングセレモニーが行われ、安芸都市文化協会長のあいさつの後、安田町長・高知県文化協会長の祝辞があり、テープカットで幕を開けました。



会場には、安芸市展や室戸市展での入賞作品をはじめ、数々の力作・大作が並び、訪れた方々が熱心に見入る姿があちこちに見られました。4日間で、のべ370名余りが来場し、作品を鑑賞しました。観覧者の生活に潤いと心に豊かさを、この展覧会がもたらしてくれたのではないのでしょうか。

ところで、この美術展の目録作成時に、私が注目していたのは「押し花」です。「押し花」と言えば、「草花をとってきて、新聞紙に挟んで重しをして・・・」という程度の認識しかなかったので、「どのような作品が出展されるのだろうか」と興味をもっていました。

2月2日に会場設営と作品展示がありました。作業をしながら押し花の展示コーナーを見ると、いくつかの風景画が目に入りました。「展示場所を間違えているな。」と思い、近付いてよく見ると・・・、そこにあったのは絵の具等で描かれた風景ではなく、いろいろな草花を重ね合わせ作られた風景だったのです。私の思い描いていた押し花とは全く違うすばらしい作品でした。これを見て、私も押し花のイメージは、すっかり変わってしまいました。

来年は、奈半利町を会場に行われる予定です。すばらしい作品の数々が来訪者を迎えてくれることでしょう。一度もご覧になったことのない方は、是非一度足をお運びください。



